



# 糖尿病タイムズ



第18号（平成31年 3月 8日発行）

あなたとあなたの大切な人のために

# Keep your A1c below 7%

<7%  
熊本宣言2013



第50回  
日本糖尿病学会  
年次学術集会  
**熊本宣言 2013**

糖尿病は、放置すると眼・腎臓・神経などに合併症を引き起こします。また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。合併症の発症を予防し、進行を阻止すること、さらには健康な人と変わらない日常生活の質(QOL)が維持され、健康な人と変わらない寿命が確保されることが糖尿病の治療の目的です。

糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。そのための血糖管理目標値は、年齢、糖尿病であった期間、現在の健康状態、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、患者さんごとに設定する必要があります。

昭和62年～平成10年、熊本県で行われた2型糖尿病患者さんを対象とした研究において、HbA1cが6.9%未満であれば細小血管合併症の出現する可能性が少ないことが報告されています。また諸外国では、より大規模な研究が行われました。その結果に基づいて合併症予防のための管理目標値として、日本糖尿病学会ではHbA1c 7%未満を推奨しています。

## 血糖コントロール目標

コントロール目標値 <sup>注4)</sup>			
目標	血糖正常化を目指す際の目標 <sup>注1)</sup>	合併症予防のための目標 <sup>注2)</sup>	治療強化が困難な際の目標 <sup>注3)</sup>
HbA1c (%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。

- 注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。
- 注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値 130mg/dL未満、食後2時間血糖値 180mg/dL未満をおおよその目安とする。
- 注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。
- 注4) いずれも成人に対するの目標値であり、また妊娠例は除くものとする。

### <編集後記>

3月になり暖かくなってきましたが、まだまだ寒い日もあります。風邪に気を付けましょう！

発行元：市立三次中央病院  
糖尿病療養指導チーム  
文責：臨床検査技師 日野原 彩

